



紫光

令和5年度 学校だより 11月号
亀岡市立詳徳小学校

令和5年11月1日発行

【TEL】0771-24-5669

【HP】<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/esho/>



詳徳小ホームページ

QRコード

読書週間

朝夕めっきり寒くなり、暑かった夏の日々が少し懐かしく感じられます。山の木々も、少しずつ色を変え始め、季節の移り変わりを実感する毎日です。

秋といえば、4年生の国語の教材に「ごんぎつね」という作品があります。森の中でひとりぼっちで暮らす小ぎつねのごんは、ある日、村で暮らす兵十がとった魚やうなぎをいたずら心から逃がしてしまいます。やがて兵十の母が亡くなったことを知ったごんは、償いに栗やまつたけを兵十の家に届けるのですが、その思いは伝わらず、姿を見られた兵十に火縄銃で撃たれてしまうというお話です。1980年代からはすべての国語の教科書に掲載されている作品ですので、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。

作者である新美南吉は、愛知県の半田町（現半田市）で生まれ、4歳で実母を亡くし、8歳の時には実母の実家へ養子に出されます。寂しく孤独な幼少期を送り、健康にも恵まれず29歳の若さでこの世を去りました。そんな寂しい南吉の幼少期の体験が映し出されている作品の1つが「ごんぎつね」であり、今もなお、多くの人々に読み継がれています。今年、南吉生誕110年の年に当たります。29歳という短い人生ではありましたが、様々な人との出逢いの中で、多くの作品を残しています。ふるさとへの思いや人々の生き方を身近な動物を通して描いてきた南吉の作品は、登場人物の気持ちが巧みな文章で表現され、読み手を引き込みます。ぜひ、南吉が伝えたかった思いを本を通して感じてみてください。

本校では、11月22日にご講演いただく、くすのきしげのり先生の作品を60冊ほどブックランドに集め、スタンプラリーの取組をしています。子どもの目線で、子どもの気持ちに寄り添った心温まる作品は、子ども達にも大人気です。くすのき先生の作品には実は仕掛けがあります。例えば「おこだでませんように」という絵本は、いつも怒られてばかりの男の子が登場し、七夕の短冊に「おこだでませんように」と願いを書くというお話ですが、「ええたまいっちょう!」というお話の中で、その男の子が成長し若いお巡りさんになって登場します。このように作品それぞれは違うお話なのですが、繋がっているのです。相関図にもまとめられていますので、それらのつながりと合わせて作品を読むと楽しみも膨らみます。くすのき先生の作品は子ども達だけでなく、大人にもお勧めです。

10月27日から11月9日は読書週間です。1947年から始まったこの取組も77回目を迎え、今年の標語は「私のペースでしおりは進む」です。社会の変化が早くなり、スピードが求められたり、効率化を図ることが望まれたりすることが多くなりました。それは必要なことかもしれませんが、自分のペースでゆっくりと、味わったり、思いをめぐらせたりすることも大切にしたいものです。秋の過ごしやすいこの季節に、多くの本との出会いがありますことを願っています。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子

くすのきしげのり先生 講演会 「一人ひとりがみんなたいせつ～本を読むこと、考えること～」

11月22日 10:30～(低学年) 11:20～(高学年)

ぜひ、多くの皆様に聞いていただきたい講演会です。保護者の皆様、地域の皆様、どなたでも参加していただけます。保護者の皆様には、後日参加申込を配布させていただきます。地域の皆様で参加をご希望される方は、お手数ですが学校までご連絡ください。 詳徳小学校 電話:0771-24-5669

「サイエンスフェスタ」開催のお知らせ

日時 令和5年11月23日(木・祝日)

午前10時～午後3時30分

場所 ガレリアかめおか

科学の様々な不思議を体験できます！
詳しくは、後ほど配信するチラシをご覧ください。



子育て相談について

日頃の子育てやお子様の学校生活について、ご心配なことや気になることがあれば、いつでも気軽に相談ください。

担任や教育相談担当、教頭、スクールカウンセラー等が対応させていただきます。